

市工業専用地域拡張の アンケート調査結果について

市は、昨年11月と12月に現在の福岡工業専用地域の西側を新たな工業地域としてはどうかというアンケート調査を実施しました。アンケート調査をしたのは、福岡・南・田村・ほか北山地区の方々にもご協力いただきました。また、市内の福岡・南・田村地区では、地元で説明会を実施しました。
今回アンケート調査の結果を皆さまにお知らせします。

【今後の土地利用（工業用地）について】

- アンケート総数：589件
- 有効回答数：188件
- 回収率：31.9%

	賛成	条件は付く が概ね賛成	保留 (不明)	反対	合計
回答数	148	29	5	6	188
割合 (%)	78.7	15.4	2.7	3.2	100.0

- 主なご意見、ご要望
- ・協力はするが、代替地を見つけてほしい
- ・住宅地域、商業地域として土地利用を考えてほしい
- ・もう少し計画地を広げてほしい
- ・絶対に公害（騒音公害も含む）のないものを誘致してほしい

今回の土地利用のアンケート結果をもとに、今後は有効な土地利用を検討してまいります。ご協力ありがとうございました。

問 谷和原庁舎産業政策課
☎ 58・2111

(内線8142)

家族、絆、そしてみらいへ…

～市男女共同参画啓発イベントを開催～

市主催による男女共同参画啓発イベントを2月21日、きらくやまふれあいの丘のホールを会場に開催しました。

今回は、「家族、絆、そしてみらいへ…」と題し、「ワーク・ライフ・バランス」（仕事と生活の調和）をテーマに、男女共同参画推進を目指す神栖市の市民団体による寸劇をはじめ、茨城県女性海外派遣事業「ハーモニーフライト2008」に参加した市民の方の発表、市内中学



神栖市市民団体「花づな」の寸劇
“スノードロップ ～家族の絆～”

校吹奏楽部の演奏をとおして、家族や仲間との絆の大切さを表現してくださいました。

来場者が300人を超え満席となった会場からは、時には笑い、時には感心しながら、舞台に拍手を送る姿がありました。市では、来場者からいただいたアンケートを踏まえ、「市男女共同参画計画」をもとに、今後も男女共同参画推進の啓発事業に取り組んでまいります。



市民発表をする
古館千恵子さん(左)、前田早苗さん(右)



伊奈中学校吹奏楽部による演奏



谷和原中学校吹奏楽部による演奏

公立学校施設の耐震診断結果について

小・中学校などの施設は、児童生徒などが一日の大半を過ごす活動の場であり、非常災害時には地域住民の避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保は極めて重要です。

市では、公立学校施設の耐震診断を実施し、その結果に基づいて、順次耐震化を進めています。昨年6月に地域防災対策特別措置法が改正され、公立の幼稚

園・小学校・中学校などの校舎・体育館について、耐震診断結果を建物ごとに公表することが義務付けられ、市においても、これまで実施してきた耐震診断結

果を市ホームページおよび学校教育課窓口で公表しています。

問 谷和原庁舎学校教育課
☎ 58・2111 (内線8203)